

「2年課題研究」ルーブリック評価（研究過程評価）

領域	評価観点	評価尺度			
		S	A	B	C
		求めているレベルを十分に達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。
テーマ設定	先行研究	研究テーマに必要な先行研究の文献や資料を精力的に調べており、研究を遂行していくために十分な情報を得ている。	研究テーマに必要な先行研究の文献や資料を調べることで、何が研究されているのかをおおよそ把握している。	研究テーマに必要な先行研究を多少調べたものの、これまで研究されてきた内容を十分に把握できていない。	研究テーマに必要な先行研究を調べていない。
	課題意識と発展性	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマが考案されており、今後の研究により課題解決に結びつくことが期待される。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマを考えようとしているが、必ずしも目新しい発想という訳ではない。	学術的・社会的な課題意識から考えたというよりも、表面的な発想からテーマ設定を行っている。	単なる思いつきによるテーマ設定である。
研究方法	計画・準備と進捗状況	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員に相談・報告し、計画通りに進めることができています。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員と検討し、若干の遅れはあってもおおむね計画通りに進めている。	実施上の日程計画や方法に関する検討や担当教員との打ち合わせが十分ではなく、計画通りに進めることができていない。	実施上の日程計画や方法を持ち合わせていないため、見通しを持たないままその場での成り行きで行っている。
	研究方法の妥当性	研究目的を達成するための、具体性のある研究方法が考えられている。	研究目的に照らして研究方法を検討しているが、方法の実行妥当性については、さらに検討していく必要がある。	研究方法は考えられているが、研究目的を達成するためには検討が不十分である。	研究方法を自分で考えようとしていない。
取組状況	好奇心・興味関心・探究心	自らの課題意識から研究に着手し、興味がさらに深まっている。また、研究テーマの探究を行ったことで関連事項にも興味が広がっている。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄に出会えたため、関心をもって研究テーマに取り組んでいる。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄もあったが、進んで研究テーマを深めるところまで行っていない。	研究を進める中で、自分が興味を抱く事柄を見いだすことができていない。または、研究テーマを探究する意欲に欠ける。
	創意工夫・オリジナリティ	先行研究を踏まえながら、調べた資料やデータを自分なりに解釈しようとしている。	調べた資料やデータを自分なりに解釈しようとしているが、解釈が先行研究に引きずられている面もある。	調べた資料やデータに独りよがりな解釈をしていたり、先行研究と無理やり関連付けたりしている。	調べた資料やデータの単なる羅列であったり、先行研究の丸写しであったりする。
グループ	役割分担と協働	自分の役割を十分に果たすとともに、建設的な意見を出すなど、グループ研究に貢献している。	自分の役割はおおむね果たしているが、他のメンバーへの寄与はさほど大きくない。	自分の役割は自覚しているものの、それを十分に果たせていない。	自分の役割を果たそうとせず、グループの他のメンバーに頼りきりである。
自由設定					

「2年課題研究」ルーブリック評価（ポスター発表評価）

領域	評価観点	評価尺度			
		S	A	B	C
		求めているレベルを十分に達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。
ポ ス タ ー 発 表	目的・仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえ、かつ班独自の視点を加えて、述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が述べられているが、その内容に一部不明瞭な点がある。	研究目的が不明瞭で、仮説に説得力がない。
	方法	研究目的に沿った研究方法が文献等を参考にしながら述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられているが、一部その内容に不備が見られる。	研究目的を達成する研究方法として不適切、または、十分とは言えない。
	分析・結果	豊富な資料やデータをもとに統計処理を行うなどして、優れた分析がなされている。また、図・表・グラフ等が分かりやすく作成・配置されている。	豊富な資料やデータをもとに分析がなされている。また、図・表・グラフ等がおおむね分かりやすく作成・配置されている。	資料、データ、図やグラフ等がおおむね適切に作成されているが、一部その作成に不備が見られる。	資料やデータが不足している、または、図、表、グラフ等が適切に作成されていない。
	考察	研究結果を踏まえた考察が多様な視点から述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が述べられている。	考察が述べられていないか、考察として不適切である。
	表示方法・文体	統一された表示と文体で必要な専門用語が用いられている。また、文章構成は論理的である。	表示と文体の統一感があり、文書構成もおおむね論理的である。	表示と文体の統一感が一部見られない。また、文書構成も一部論理的でないところがある。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でない。
	発表の内容	明快な理論に基づいて構成されており、読み手・聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、読み手・聞き手が理解しやすい表現である。	分かりやすい構成を心掛けているが、一部曖昧な表現が含まれている。読み手・聞き手が理解しやすいよう心掛けている。	内容構成が分かりにくく、読み手・聞き手は内容を理解できない。
	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し、言葉遣い、声の大きさ、話す速さは適切であり、分かりやすい。	原稿を見ることもあるが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度についてはおおむね適切である。	原稿を見るのが散見され、声が小さかったり、速く話したりすることがある。	終始原稿を見ながら発表し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではない。
	質疑応答	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた適切な応答ができています。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握して応答しようとしているが、途中で論点がずれたり、情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できていないまま応答しているため、質問と答えが対応していない。
チ ェ ッ ク 項 目	紙面の活用	<input type="checkbox"/> 紙面を効果的に活用している			
	参考文献	<input type="checkbox"/> 参考文献が正しく表記されているか			
	提出期限	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っているか			
	グラフ・テーブルの表記	<input type="checkbox"/> 縦横の軸、単位が明記してあるか			
	統計処理	<input type="checkbox"/> 適切な統計処理を行っているか			
コ メ ン ト					

延岡高校 「論文」 評価用ルーブリック

ルーブリックを参照しながら昨年度作成した論文の執筆状況について、4、3、2いずれかの評価をしてください。なお、特に達成度の高い項目（0～2項目）と特に達成度の低い項目（0～2項目）については、それぞれ5、1と評価してもよい。各観点について、**評価3の記載内容を高校生として標準的なレベル**とします。

今回の評価を踏まえて、次回評価時に4以上の評価が増えるように、指導をお願いします。

ゴシック：3を基準としたときの主な相違点・評価ポイント

	評価 評価の観点	S	A	B	C	取組 評価
		標準的なレベルAを越えて達している	標準的なレベルを達成している	標準的なレベルをおおむね達成している	標準的なレベル（3）を達成する課題がある	
論文	アブストラクト	研究の目的・方法・結果が述べられていて、研究の全体像が把握でき、読み手が興味をもつ内容になっている。	研究の目的・方法・結果が述べられていて、研究の全体像が把握できる。	研究の目的・方法・結果が述べられている。	研究の目的・方法・結果が述べられていない。	
	目的と仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられている。	研究目的や仮説が述べられている。	研究目的や仮説が述べられていない。	
	方法	研究目的にそった研究方法が述べられており、再現可能な表現がなされている。	研究目的にそった研究方法が明確に述べられている。	研究目的におおむねそった研究方法が述べられている	研究目的を達成する研究方法として不適切または十分とは言えない。	
	分析と結果	研究目的や仮説を検証するために十分な資料、グラフ等が作成・配置されており、誤差の扱いなど目的に即した優れた分析が行われている。	研究目的や仮説を検証するために十分な資料、グラフ等が作成・配置されている。	資料、データ、図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足している、または図、表、グラフ等やこれらのキャプションが適切に作成されていない。	
	考察	研究結果を踏まえた考察が明確で、分かりやすく述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が明確で、分かりやすく述べられている。	研究結果を踏まえた考察が述べられている。	考察が述べられていないか、考察として不適切である。	
	まとめ	研究の意義を踏まえながら研究目的や仮説に対する結論が述べられており、今後の展望や課題も述べられている。	研究の意義を踏まえながら研究目的や仮説に対する結論が述べられている。	研究目的や仮説に対する結論が述べられている。	研究目的や仮説に対する結論が明瞭でなかったり、根拠に欠ける結論になっていたりする。	
	表示方法と文体	統一された表示と文体で必要な専門的用語が用いられている。また文章構成は論理的である。	統一された表示と文体で必要な専門的用語が用いられている。	表示と文体の統一感があり、文章構成もおおむね論理的である	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でなかったりする。	
<p>※論文…未執筆の内容・項目、評価に値する文量に達しない内容・項目の自己評価は「0」とすること。</p>						自己評価計

コメント	
------	--

班名 ()

評価日 月 日